

軽井沢エフエム放送株式会社 第84回 番組審議会

1. 開催日時： 平成 27 年 6 月 12 日（金） 午後 14 時 00 分より

2. 開催場所： FM 軽井沢 オフィス
(長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東 16-7 2F)

3. 出席：

[委員] 委員総数 8 名

議長・委員長	西	千	穂
委員	小	林	敦
委員	梅	原	孝
委員	藤	巻	傑
委員	袖	山	卓也
委員	和	貝	たかね
委員	皆	川	伸也
委員	北	澤	雄一郎

[委員の出欠]

出席委員 7 名 / 欠席委員 1 名

[局側の出席者]

代表取締役	長	谷	川	隆也
制作技術部	岩	下	雄	一郎

4. 議題： 番組審議

〈番組名〉「つながる音羽時間」

〈放送日時〉 毎週金曜日 16:00～16:30

〈試聴〉 平成 27 年 4 月 13 日（金）放送分

〈委員の意見〉

■まず、番組内でパーソナリティ自身の紹介をした方が良い。ゲストの人選も軽井沢全体から広く選ぶ事により、番組自身も広がる。次週のゲストに対する質問を今回のゲストに聞き、番組の運動性を上げるというアイデアはどうか。また、番組のターゲットリスナーは明確にした方が良い。今の内容だと、誰に向けて放送しているかが分かりづらい。

■確かにゲストの人選は広範囲から呼んで欲しい。軽井沢を違う視点で話せるゲストを入れると面白くなる。

- 30分が短いと感じたので60分に伸ばすのも良い。番組の終わりで次週のゲスト紹介を入れると、次も聴こうと思える仕掛けになるのではないか。
- ケースバイケースだが、スポンサー色を抑えることで、スポンサーにとってプラスになる部分もありそう。
- フリートーク構成だと、今後ゲスト次第で番組の内容、面白さが変わってしまう。メインテーマを決めて、テーマに沿ってゲストとのやり取りをする方が面白くなるのではないか。
- 完全なフリートークではなく、番組のテーマに沿ってゲストとやり取りをする番組構成にしていく事が、番組の質向上に繋がると考えられる。